

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

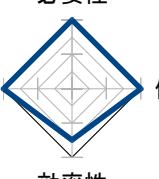
1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	357 道路維持補修事業					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部 都市整備部		
	基本計画【施策】	5-④生活の要是道路		担当課 土木管理課			
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	02 目 道路維持費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路施設管理運営費	細事業名 (事業2) 道路維持補修事業		
実施主体	市		実施方法	市が直接実施・運営	対象 全市民		
事業期間	開始年度		終了予定年度				
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。						
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	境界立会い、測量。 修繕工事。(道路・道路反射鏡)			
課題	工事を行うに当たり、緊急性・公共性の見極めが重要となる。 今後、橋梁等の長寿命化に多くの工事費が掛かる			
コスト	事業費 (A)	平成24年度 当初予算額	73,408 千円	平成25年度 72,291 千円
	財源内訳	決算(見込)額 ※国・県補助金など	73,011 千円	96,785 千円
	特定財源	千円	千円	18,052 千円
	一般財源	73,011 千円	96,785 千円	62,627 千円
	人件費 (B)	千円	4,823 千円	6,477 千円
	人工(職員数の内訳)	人	0.6 人	0.8 人
トータルコスト (A) + (B)		73,011 千円	101,608 千円	87,156 千円
活動目標	内容	単位	平成24年度	平成25年度
	修繕工事等の実施件数	件	28	
		目標 実績	28	63
		達成度	225.0%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 道路交通の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	緊急性、公共性を考慮し判断していく。 橋梁等の長寿命化に取組んでいく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	360 大森新道線道路改良事業					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部 都市整備部		
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路		担当課 土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2) 大森新道線道路改良事業		
実施主体	市		実施方法	市が直接実施・運営	対象 全市民		
事業期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	平成27年度		
事業の目的	通行に危険を伴う線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。						
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=256.8m 用地買収 A=429.72m ² 物件補償 N=1件 (工作物、立木)			
課題	道路用地の買収困難者への対応 事業予算の確保			
コスト			平成24年度	平成25年度
	事業費 (A)	当初予算額	18,430 千円	35,119 千円
		決算(見込)額	49,240 千円	33,279 千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	37,630 千円	20,130 千円
		一般財源	11,610 千円	13,149 千円
	人件費 (B)		5,170 千円	5,773 千円
活動指標	人工(職員数の内訳)		0.7 人	0.8 人
	トータルコスト (A) + (B)		54,410 千円	39,052 千円
			達成度	100.0%
内容		単位	平成24年度	平成25年度
		%	目標 27	72
計画に対する整備率		実績	27	42
		達成度	100.0%	58.3%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 通勤通学等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH27の完了を目指す。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No.	365 小名川12号線道路改良事業			
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち	担当部	都市整備部
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路	担当課	土木建設課
関連予算科目	一般 会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2) 小名川12号線道路改良事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象 全市民
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	平成27年度
事業の目的	本路線を整備することにより、鷺津駅周辺の幹線道路との連続性が確保され、病院利用者を含む歩行者の安全と利便性の向上を図る。			
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。			

2. 事業の実績(Do)

事業実績	用地買収 A=216.10m ² 物件補償 N=1件 (建物、工作物、立木)			
課 題	物件移転対象者への対応 事業予算の確保			
コ ス ト	事業費 (A)	平成24年度 当初予算額 0 千円	平成25年度 決算(見込)額 66,365 千円	平成26年度 25,365 千円
	財源内訳	26,401 千円	54,502 千円	千円
	特定財源 ※国・県補助金など	20,879 千円	22,723 千円	19,840 千円
	一般財源	5,522 千円	31,779 千円	5,525 千円
	人件費 (B)	5,686 千円	5,233 千円	6,756 千円
	人工(職員数の内訳)	0.7 人	0.7 人	0.9 人
トータルコスト (A) + (B)		32,087 千円	59,735 千円	32,121 千円
活 動 指 標	内容	単位	平成24年度	平成25年度
	計画に対する整備率	% 達成度	0	0
			50	50
			達成度	達成度

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 通勤通学、病院等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH27の完了を目指す。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	367 浜名線道路整備事業					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部 都市整備部		
	基本計画【施策】	5-④生活の要是道路		担当課 土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2) 浜名線道路整備事業		
実施主体	市		実施方法	市が直接実施・運営	対象 全市民		
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	平成26年度			
事業の目的	本路線を整備することにより、国道1号への接続が改善されることにより、地域交通の安全と利便性の向上を図る。						
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=148.0m 用地買収 A=16.22m ² 物件補償 N=1件 (工作物、立木) 用地買収 A=406.07m ² (H24から繰越) 物件補償 N=1件 (立竹木) (H24から繰越)			
課題	道路用地の買収困難者への対応			
コスト	平成24年度		平成25年度	平成26年度
	事業費 (A)	当初予算額	1,485 千円	20,021 千円
		決算(見込)額	468 千円	58,587 千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	42,498 千円
		一般財源	468 千円	16,089 千円
	人件費 (B)	6,720 千円	7,933 千円	10,483 千円
活動目標	人工(職員数の内訳)	0.9 人	1.0 人	1.4 人
	トータルコスト (A) + (B)	7,188 千円	66,520 千円	83,357 千円
	内容	単位	平成24年度	平成25年度
計画に対する整備率	% 達成度	目標	0	43
		実績	0	44
		達成度	102.3%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	必要性 有効性 効率性 優先性
	本路線を整備することにより、国道1号への接続が改善され、地域交通の安全と利便性の向上を確保するものであり総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業(まちづくり交付金)であり予定通りH26の完了を目指す。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	368 新居弁天IC取付道路整備事業					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部		
	基本計画【施策】	5-④生活の要是道路		担当課	都市整備部		
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2)		
実施主体	市		実施方法	市が直接実施・運営	対象		
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	平成26年度			
事業の目的	浜名バイパス新居弁天インターのフルインター化に合わせ、取付道路の市道松山弁天線の整備を行うことにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。						
事業の概要	浜名バイパスICの整備に併せて取付け道路の整備を行う。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=160m 工事 L=128m (H24から繰越) 委託 (測量) L=300 m (H24から繰越)			
課題				
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度
		12,600 千円	15,000 千円	40,323 千円
		決算(見込)額	0 千円	32,698 千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	27,077 千円
		一般財源	0 千円	5,621 千円
	人件費 (B)		千円	4,693 千円
活動目標	人工(職員数の内訳)		人	0.6 人
				0.8 人
	トータルコスト (A) + (B)	0 千円	37,391 千円	46,547 千円
内容	内容		単位	平成24年度
				平成25年度
			%	平成26年度
	計画に対する整備率		目標 実績	0 52 31
達成度				59.6%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 浜名バイパスICの整備に併せて取付け道路の整備を利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業(まちづくり交付金)であり予定通りH26の完了を目指す。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	370 新所原駅嵩山線道路改良事業					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部		
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路		担当課	都市整備部		
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2)		
実施主体	市		実施方法	市が直接実施・運営	対象		
事業期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	平成29年度			
事業の目的	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。						
事業の概要							

2. 事業の実績(Do)

事業実績				
課題	道路用地の買収困難者への対応 事業予算の確保			
コスト	平成24年度		平成25年度	平成26年度
	事業費 (A)	当初予算額	0 千円	0 千円
		決算(見込)額	1,160 千円	410 千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円
		一般財源	1,160 千円	410 千円
	人件費 (B)	2,068 千円	1,452 千円	1,432 千円
活動目標	人工(職員数の内訳)	0.3 人	0.2 人	0.2 人
	トータルコスト (A) + (B)	3,228 千円	1,862 千円	3,2059 千円
	内容	単位	平成24年度	平成25年度
計画に対する整備率	% 達成度	目標	0	0
		実績	0	0
		達成度		50

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	必要性 効率性 優先性
	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築することにより、利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH29の完了を目指す。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	375 大知波青平線道路改修事業（今川小橋）					
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち	担当部	都市整備部			
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路		担当課	土木建設課		
関連予算科目	一般	会計	08 款 土木費	02 項 道路橋梁費	03 目 道路改良費		
	予算事業名		基本事業 (事業1)	道路改良費	細事業名 (事業2) 大知波青平線道路改修事業（今川小橋）		
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民		
事業期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	平成26年度			
事業の目的	橋脚の損傷により交通の危険性がある今川小橋を改修することにより、利用者の安全と生活環境の改善を図る。						
事業の概要	橋梁耐震補強工事を行う。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	橋脚補強、落橋防止装置等1式			
課題	特殊工法により工事を行うため、材料及び使用機械の確保			
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度
		0 千円	81,000 千円	2,800 千円
	決算(見込)額	0 千円	29,560 千円	千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円
		一般財源	0 千円	1,210 千円
	人件費 (B)	千円	29,560 千円	1,590 千円
活動指標	人工(職員数の内訳)	人	1,620 千円	2,497 千円
	トータルコスト (A) + (B)	0 千円	31,180 千円	5,297 千円
	内容	単位	平成24年度	平成25年度
活動指標	計画に対する整備率	% 達成度	平成24年度	平成25年度
			0	97
			0	35
			36.1%	100

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	必要性 優先性 効率性
	損傷の激しい橋脚の耐震補強工事であり、利用者の安全を確保するものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH26の完了を目指す。